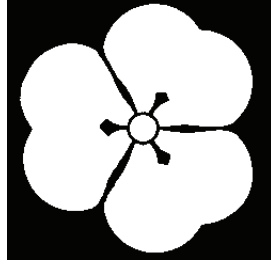


福原家系譜



當家は大江廣元二男長井時廣の後裔にして
毛利元春五男廣世を祖とす 廣世は安藝國
高田郡内部莊福原村を領し在郷の名を以て
福原氏を稱す
寛永二年（一六二五）元俊が宇部を領し以後
代々萩藩永代家老にして藩の柱石となりぬ
越後元儼は蛤門の變に於ける罪を負ひ自刃
其の犠牲奉公の精神は今日も語り繼がる
今茲に當家の世系の一端を明らかにし一幅
の系譜を編みたるは先祖の御靈を慰め以て

其の鴻恩に報るんとするに他ならず
宜しく後昆其の意を體し愈々産を興し家運
の隆昌に盡力すべし

于時 平成十一年三月吉日

福原 賢一

陽子 譜之

大江 廣元

正四位下 陸奥守

關東執權

長井

時 廣

從五位上

藏人 左衛門尉

長井入道齋阿 關東評定衆

仁治二年五月二十八日卒

泰 茂

從五位下

左近太夫 出羽守

長井 毛利 福原

貞

廣

入道澄阿 永和元年八月二十九日卒

出羽掃部頭

賴元 孫太郎

貞

賴

六波羅評定衆 貞治二年九月二十日卒
法名宗岳大禪定門

從五位下

出羽彈正藏人 出羽守

賴

秀

入道道可 六波羅評定衆
觀應二年八月十一日卒

從五位下

左近將監 式部大輔

入道禪心 六波羅評定衆
建治二年三月十五日卒
法名宗岸大禪定門

貞

俊

内藏大夫 文明六年七月二十二日卒
法名宗林 大禪定門

少輔次郎 左近允

元澄 彌五郎

毛利 福原

廣

俊

下總守 永享三年五月六日卒
法名字水 大禪定門

少輔太郎 式部大輔

法師丸 彌五郎

福原

朝

廣

入道誠貞 應永二十八年二月八日卒
法名朝巖 大禪定門

少輔五郎 左近允

五郎

廣

世

入道玄猛 毛利右馬頭元春五男
應永三年十月二十四日卒
法名玄猛 大禪定門

從五位下

五郎 左近大夫將監

福原

廣

俊

左近允 下總守

彌五郎

弘治三年一月十日卒 法名玉峯宗金

貞

俊

左近允 出羽守

彌五郎

文祿二年八月十五日卒 行年七十五歳

法名仁壽宗仙

室天正十年三月三日卒 法名花屋妙香

元

俊

上總介或少輔三郎

彌五郎 式部少輔

天正十九年十月三日卒 行年四十四歳

法名春屋常貴

室乃美安藝守隆興女

寛永十四年六月四日卒 法名隨雲榮久

廣

俊

從四位下

少輔三郎 越前守 越後守

廣

俊

左近允 隱岐守

俊次 源三郎

元祿八年四月五日卒 行年五十八歳

法名慈雲院乾底宗泉 墓牌徳隣寺

室右田毛利志摩元任女

寛文二年七月二十五日卒

法名法雲院玄外妙幽 墓徳隣寺牌天樹院

後室毛利六郎左衛門元雅養女

寛文六年八月十七日卒

法名永光院月溪妙心 墓松雲院牌天樹院

後室内藤與三右衛門就勝養女

元文二年三月二十九日卒

法名玄林院乾室妙珠 墓徳隣寺

元

俊

但馬守 隱岐守

元光 少輔三郎

承應二年八月九日卒 法名寶嶺宗隣

墓徳隣寺牌清光寺

室口羽孫右衛門元武女

明暦二年五月二十日卒

法名妙慶院佳雲宗善 墓牌同

元和九年三月三十一日卒 行年五十七歳

法名徳隣宗威 墓玄濟寺

室口羽伯耆守春良女

慶長七年八月二十二日卒

法名無覺清安 牌長壽寺

元

貞

國楨 主殿 豊後

須佐益田玄蕃就賢二男

廣

泰

雅樂 對馬

重次郎 廣爲

元祿七年五月二十七日 生

隱岐守廣俊末子

享保十年四月十一日卒 行年三十二歳

法名性源院天峯道真 墓碑德隣寺

室毛利大藏就久女

享保十年四月二十三日卒

法名玉龍院翠雲眞光 墓碑同

廣

頼

和泉 隱岐

俊世 權平

正徳四年三月十一日卒 行年三十二歳

法名英性院信岩宗雄

室三丘宍戸修理就宗女

正徳元年七月十七日卒

法名清心院妙達日悟

墓徳隣寺牌法花寺

就

清

少輔三郎 丹波 播磨 豊前

俊郷 就郷

寶曆六年六月八日 生

寛政三年八月十八日 卒 行年三十六歳

法名清風齋猗園信誓 墓宗隣寺牌徳隣寺

室阿川毛利伊勢就楨女

安永三年一月十八日 卒

後室徳山毛利山城守廣豊女

文政六年七月二日 卒 行年六十四歳

法名鍊功院霞山養眞

廣

門

少輔三郎 豊前 肥後 近江

俊茂 廣茂

享保二十年三月二十七日 生

寛政三年七月十五日 卒 行年五十七歳

法名常在院月峯宗鑑 墓牌徳隣寺

室大野毛利伊勢元雅六女

文化元年二月十八日 卒 行年七十歳

法名養壽院和室貞光 墓牌同

寛保元年三月十五日 卒 行年三十四歳

法名光宅院天寧崇祐 墓牌徳隣寺

室福原貞右衛門元房女

明和十年九月二日 卒 行年六十一歳

法名心境院瑞雲貞性 墓牌同

親

俊

勝三郎
近江 左近允

天保四年七月二日生
安政五年八月四日卒 行年二十六歳
法名好謙齋道光宗貴 墓碑徳隣寺
室三丘宍戸元禮二女 後離縁寸

瀬

賢

繁次郎

天保七年一月十日卒 行年三十二歳
法名仁岳院湛源慧流 墓碑徳隣寺
室徳山毛利大和守廣鎮四女
慶應元年七月十四日卒 行年五十五歳
法名真相院貞巖茂松 墓碑宗隣寺

房

純

勝三郎 豊前
剛倫 俊明 房俊

徳山毛利石見守就剛二男 母家女須磨
天保七年一月二日卒 行年六十五歳
法名智徳院高嶽義尚 墓碑徳隣寺
室三丘宍戸美濃就年長女
天保七年十二月八日卒
法名浄體院保真長養 墓碑同

芳

山

從六位

駒之進 五郎 親徳

弘化四年六月二十三日 生
粟屋若狹親陸が男なり

室

三

永

文政三年正月二十一日 生
大津郡俵山村 楢社駿河が三女なり
天保四年六月元憺の室となる

明治三十四年三月十二日 卒 行年八十二歳

元

憺

正四位 越後

徴之助 勝定 元定 主殿

文化十二年八月二十八日 生
徳山毛利大和守廣鎮が六男なり
岩國龍護寺に於て自刃す 墓碑宗隣寺

元治元年十一月十二日 卒 行年五十歳

法名 隆文院願常全忠

俊

丸

正四位

男爵

明治九年八月十八日 生

明治十五年九月家督相續す

貴族院議員 早稻田大學工科學長

小野田セメント製造株式会社取締役

昭和三十四年二月一日 卒 行年八十四歳

ト

八

芳山 室

安政二年十二月二十日 生

明治十五年十月二十九日 卒 行年二十八歳

法名 保壽院貞松妙全

法名 瑞芳院感應道雄

明治十五年八月十七日 卒 行年三十六歳

墓宗隣寺

宇部炭坑会社設立 大審院判事

明治元年福原に復す

同年鈴尾の氏を稱すも

元治二年三月家督相續す

元治元年七月元個の養子となる

千

代

明治十三年十一月二十三 生

明治十四年六月十九日 卒 行年二歳

ウ

メ

明治十二年二月五日 生

明治二十九年十二月 東京市下高輪町

大村徳敏へ嫁す

室

つ

る

明治二十年一月三十日 生

東京市麴町区内幸町

児玉少介が三女なり

明治三十七年十二月 俊丸の室となる

昭和二十五年三月三十一日 卒 行年六十四歳

室 寛 子

明治四十年一月二十九日 生
東京市四谷區東信濃町
野村益三が長女なり
昭和五年一月室となるも
昭和八年三月離婚す

俊 一 郎

明治三十九年一月二十四日 生
昭和五十八年五月二十八日 卒 行年七十八歳

ト 三

明治十五年九月三日 生
明治十五年十二月二十二日 卒 行年當歳

香

代

三

郎

明治四十四年二月十六日 生

明治四十四年八月二十九日 卒 行年當歳

個

治

明治四十二年十二月九日 生

明治四十四年八月十三日 卒 行年三歳

博

子

明治四十年一月三十一日 生

大正十五年十二月 東京市京橋區築地
山田鐵郎へ嫁す

室 壽 美 子

昭和十二年二月二十七日 生
厚狭郡山陽町厚狭大字厚狭
荒木省己が三女なり
昭和三十六年三月元宏の室となる

元

宏

養子

昭和二十九年十一月 生
大正四年一月十八日 生
アメリカ合衆國籍となる

昭和十一年一月二十一日 生
防府市大字東佐波令
毛利元道が二男なり
昭和十七年二月俊丸の養子となる
昭和十七年七月家督相續す